

多言語センターFACIL

Multilanguage Center

FACIL

ワールドキッズコミュニティ



World Kids Community

ワールドキッズコミュニティ

2020年度事業報告

[2020年4月1日～2021年3月31日]

1. 2020年度事業の振り返りと総括

<全体総括>

2020年度は、コロナで始まりコロナで閉じました。夏以降に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたかのような油断から Go to トラベルのような経済挽回の取り組みが裏目に出て、さらなる感染拡大で年度末を過ぎました。そのために FACIL でも1年のほとんどをリモート業務として、職員が事務所にそろう機会はありませんでした。このような非常な状態の中で、IT をできるだけ有効に使うことを駆使しながら、新しい職員3名も含めて各自が柔軟に役割を果たして乗り越えてきていると思います。12月からは産休・育休を終えて出勤し始めた事務局長を迎え職員も安心したところで、リモート業務では十分ではない意思疎通や情報共有の促進のために、年度末を終えてから例年よりも長く時間をさいて、職員ひとりひとりの振り返りと、基本的な団体の活動趣旨に基づいた役割分担などの確認もしました。

また、会計入力とも連動したデータベースのクラウド化をめざして効率化とコスト削減を実現できる新しいシステムを導入したことにより、今年度は会計入力の外部委託が不要になり、今後のデータベースクラウド化への基盤ができました。

コロナ禍で激減した通訳業務や研修・交流事業に代わって、オンラインの活用が社会全体に進んだおかげもあり、翻訳・通訳の仕事も内容の内訳を変えながら持ち直し、全体的には黒字決算となりました。

主たる柱である翻訳・通訳事業でも、性能をあげてきている自動翻訳について一部でうまくとりいれられないかと検証を試みたのですが、やはり細やかな人海戦術体制が FACIL の強みであるという結論でした。実際に自動翻訳原稿の内容確認などの依頼も見られるようになっていきます。

寺山財団に支援をしていただいているおかげで、社会貢献事業として位置付けてきた医療通訳事業も17年目を無事継続することができました。人材育成は着実に成果をあげていると言えますが、まだ制度化にはいたっていません。兵庫県と神戸市の助成金による医療機関環境整備事業も3年目に入って、2020年度から基本を遠隔通訳体制に変えたと同時にコロナ禍が後押しとなり、遠隔通訳が同行通訳の件数に迫ってきている状況が、制度化につながればと考えています。

2020年度に力を入れた事業として、新型コロナウイルス関連多言語支援活動があります。これこそ、多様な住民とのネットワークやコーディネート力を活用した経験を活かすことで成果をあげることができる、FACIL が目指しているプラットフォーム構築の基盤強化になるものです。

多文化企画事業の一つでもある JICA 研修事業は、これまで FACIL が提案し続けてきた「多様性と社会参画」が、JICA の大きな方針転換により新たなテーマとする国内も視野に入れた「多文化共生」を目指すものとして、ひとつの研修の柱へとつながり、その延長線上で日系人受け入れ研修やコミュニティ防災の企画のアドバイザー的な役割を FM わいわいとともに果たしており、来年度につながる可能性が大きいです。

ワールドキッズコミュニティは、2020年度はすでに役割を FACIL の事業の中へと移行させつつあり活動には着手しませんでした。しかしその活動でのつながりは、確実に FACIL の外国人コミュニティを中心としたネットワーク構築に引き継がれています。今年度は団体の整理には至りませんでした。今後もこの方針を変えない予定です。

最後に、次世代への移行がようやく現実的となり、2年後の理事長交代に向けて役員交代も進んでいます。サポートして下さる役員や会員の方たち、活動に参加して下さるインターンやボランティアの方たちすべてにも、新しい体制への提案や応援をして下さいますよう、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

多言語センターFACIL 理事長、ワールドキッズコミュニティ代表
吉富 志津代

2. FACIL/キッズの運営に関する事項

(1) 基本理念の確認など

多文化共生社会の推進という共通理念に基づき、特定非営利活動法人たかとりコミュニティセンター（TCC）のネットワークの中で、カトリックたかとり教会に拠点を置き、翻訳・通訳、多言語 Web・DTP、多言語音声制作、外国にルーツを持つ住民との連携活動などの事業に取り組む公益活動団体の運営支援および連携の強化に努め、質の高い協働事業の展開をとおして、外国出身の住民も含む地域の多様な立場の人々が誰も排除されることのない、安心できるまちづくりに寄与することを目的とする。

また、新たな戦略と手法で、スタッフ各自が積極的に活動における自分の役割を担い、雇用される側ではなく自分の雇用を生み出す姿勢をつくる。

(2) 各団体の概要

①特定非営利活動法人 多言語センターFACIL

地域ニーズに根ざした翻訳・通訳事業を基盤として、多文化なコミュニティビジネスを展開し、対応言語は 70 言語に及ぶ。

社会貢献事業としての医療通訳システムの構築にむけた取り組みは 18 年を経て、ようやく神戸市の 3 病院を中心に、兵庫県の病院や大学病院も、協力病院として主体的に関わる形が整いつつあるものの、遠隔通訳を基本ツールとした全国的な制度化にはまだ時間を要する。

近年は、これまでに培ってきたネットワークとコーディネート力を生かして、多文化共生と多言語環境を推進させる企画やアイデアを行政機関や民間企業などに提案し、協働事業・委託事業として展開させていくことにも力を注いでいる。

②ワールドキッズコミュニティ

多文化な子どもたちを取り巻く環境の改善に取り組み、誰もが自分のアイデンティティに自信をもてるような青少年の発信／育成支援に取り組んできたが、現在はそのフォローにとどまる。外国にルーツを持つ子どもたちの居場所づくりや、そこから発展する表現活動や外国人コミュニティの活動相談を受けるなど活動のみに絞っている。

(3) 決算および事業図の説明

①決算について

多言語センターFACIL とワールドキッズコミュニティは連携した経営を行っており、職員も重なっているが、それぞれの団体の決算書が存在する。

②事業図（4 ページ参照）について

団体は○で、プロジェクトは□で表記する。点線の□は単年度の事業とし、○の大きさは、年間の事業費および事業に関わる人数を考慮したボリュームを表す。

ふたつの団体の重なり合う部分で実施されている業務も多く、全体の事業費の基盤を支えるのが、翻訳・通訳、多文化企画事業および Web 制作（多言語・日本語）である。

今年度の特徴としては、リモートワークによる事務所の IT 環境整備業務のボリュームが大きくなっていること、医療通訳環境整備事業の継続に加えて、コロナ関連多言語サポート事業を展開したこと、JICA 事業については、本部の方針が国内の多文化共生事業の展開へと舵を切ったことにより、FACIL が提案を続けている「多様性と少数者の視点」というテーマに関連した研修やアドバイス、および今後の企画に関する準備業務のボリュームが大きくなったことなどがあげられる。反してキッズの活動はボリュームを小さくしている。

<FACIL/キッズ事業図 2020>

FACIL

翻訳・通訳 多文化企画

Web 活用販売活動

広報・ファンドレイジング

災害・防災活動関連 (TCC と共同)

医療通訳関連

コロナ関連多言語サポート事業

HIA 医療通訳環境整備事

データベース再構築

外国人コミュニティ支援・青少年育成

ネットワーク構築

発信/啓発/連帯/提言

イベント/セミナー

相談

調査研究

インターン/ボランティア

会員拡大・管理

Re:C サロン

外国ルーツの子ども
たちの表現活動支援

キッズ

経営/会計
総務/労務

多言語コンテンツ制作
(Web・DTP/音声/映像)

Web 維持管理

TCC 運営業務

FM わいわいによる JICA 草の根インドネシア事
業関連の労務業務

世界の食とおもてなしサービス

(4) 職員所属および担当について

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

① 多言語センターFACIL

- ・李裕美（FACIL 事務局長／翻訳・通訳コーディネーター／多文化企画／医療通訳関連など）
- ・村上桂太郎（キッズ事務局長／FACIL 総務部長／経理／労務関連／翻訳・通訳コーディネーター／音声コンテンツ／TCC 事務局業務／コロナ関連支援／FACIL データ管理など）
- ・山口まどか（FACIL 事務局次長／翻訳・通訳コーディネーター／多文化企画／医療通訳関連など）
- ・田口靖幸（Web・DTP／広報／ICT 関連／コロナ関連支援／FACIL データ管理など）
- ・平野由美子（医療通訳関連／翻訳・通訳コーディネーター／庶務関連／会員管理など）
- ・橋本由里（翻訳・通訳コーディネーター／コロナ関連支援／FACIL メールニュース配信など）
- ・古林みどり 非常勤（翻訳・通訳コーディネーター／医療通訳関連／コロナ関連支援／FACIL データ管理／FACIL メールニュース配信）
- ・玉田なつみ 非常勤（翻訳・通訳コーディネーター／コロナ関連支援／インターン・ボランティアコーディネーター／FACIL メールニュース配信など）
- ・神山満月 非常勤（医療通訳関連／その他）
- ・ブイティ ホン ニュン 非常勤（医療通訳関連／その他）
- ・日比野美耶子 非常勤（経理／その他） ※2020年7月～
- ・平野悟 非常勤（音声コンテンツ／その他）
- ・井上稚菜 非常勤（翻訳・通訳コーディネーター補助／その他） ※2021年3月～

② ワールドキッズコミュニティ

今年度は雇用せず

③ 雇用外

吉富志津代（名古屋外国語大学世界共生学部教授）

（FACIL 理事長／ワールドキッズコミュニティ代表として管理・運営全般）

3. FACIL/キッズ事業に関する事項

(1) 翻訳・通訳関連事業

<業務総括>

コロナ禍で依頼件数は大きく減った。通訳件数は増加しているが、医療通訳の協定外病院からの依頼の増加によるもので、民間からの依頼は激減した。翻訳は、神奈川県と兵庫県の緊急時翻訳の件数がコロナ関連情報発信のため大幅に増え、例年とは全体の内訳が変わった。全体の件数は昨年度より 98 件減少した。しかし、受注金額は昨年度と同等に維持でき（集計上は年度またぎの案件の会計に合わせた調整でプラスになっている）、受注単価が上がった。これは他社があまり扱わない言語も含めた多言語翻訳や翻訳からナレーションまで一括受注の大型案件を受注したからである。小さな仕事を丁寧に積み上げることで、大型案件へ結びつく信頼を得てきた証である。また紹介により、新たに神奈川県や岐阜県および岐阜県内の市の行政や団体から定期的に依頼を受けるようになった。これもこれまでの仕事ぶりへの評価であろう。慢心することなく、信頼を培う努力を続けていきたい。

未曾有のコロナ禍が続く状況下において、スタッフひとりひとりが多言語・多文化なまちづくりの実現という FACIL のミッションを共有し、根幹を支えているコミュニティビジネスそのものがミッションに結びついており、さらには外国人コミュニティ支援、医療通訳、多言語サポートなどの社会貢献事業を支えていることを意識し、社会に発信し続けていくことが重要である。

① 翻訳・通訳コーディネートに係る環境整備

- ・ コロナ禍のためテレワークを導入し、Slack や Zoom を用いた遠隔コミュニケーション体制を整備した。
- ・ テレワーク導入に伴い、ノートパソコン 3 台、ウェブカメラ、ヘッドホンを購入した。
- ・ オンラインでの同時通訳のためのクラウド同時通訳システムをリサーチし研究した。またベストな環境を試行錯誤し、NPO 法人エフエムわいわい (FM わいわい) のスタジオを利用した体制を確立した。
- ・ 専門分野別の翻訳業者やレイアウト業者など外部委託先を積極的に活用し、受注を落とさないようにした。
- ・ 例年同様、利用者や登録者、関係者に向け SNS、インターネット、メールを活用した情報発信を行い、また SEO 対策への取り組みを継続したが、広報戦略を立てるには至らなかった。
- ・ 他団体や行政機関等と接点をもつ機会を積極的に増やし、協働事業の提案をした。
- ・ 新しい知見や人脈を得る機会を増やすため、外部会合・研修などに参加した。
- ・ 自動翻訳業界の現状と、翻訳校正の機能について学ぶため、スタッフで勉強会を数回行った。
- ・ コロナの影響で困窮する外国人について知るために、スタッフおよび登録者向け Zoom 研修会「外国人として日本に暮らすということ」を 2/21 と 3/20 に開催した。

② Web、音声・映像、印刷につながる翻訳事業

(イ) 翻訳・ナレーション収録もしくはナレーター派遣

- ・ 多言語での音声収録やナレーション派遣を含む依頼の件数は 21 件と前年度 (27 件) に比べ減少したが、クライアントのリポート率が高く、比較的大きな依頼案件も複数あったため、事業規模は予算を上回る結果になった。
- ・ エンジニアがナレーターとは別室にいても録音できるように収録環境の整備の検討を進めたが、年度内の実施には到らなかった。
- ・ ナレーションができる人材の発掘と育成にも引き続き力を入れ、新規にマレー語、ミャンマー語、クメール語、ヒンディー語でのナレーション案件を引き受けた。
- ・ JICA と FM わいわいが研修の際に活用するデジタルコンテンツの制作を行った。
- ・ 主に派遣に関するコーディネートの部分はノウハウを職員間で共有できるようにしていく等の体制の拡充は十分には進められなかった。

(ロ) Web・DTP制作

- Web制作はクライアントのサイトを1件リニューアル、修正を実施した。助成金事業として多言語によるコロナ情報をFACILサイト内部に記事をアップ。それらを集約したサイト「コロナで困っている外国人住民のための多言語情報」(<https://tcc117.jp/facil/covid-ml-info/>)を構築した。このサイトでは、表示の困難なネパール語、アラビア語、ミャンマー語のコンテンツに着手し、今後の制作に生かせる経験となった。
- DTPに関しては、タイ語の観光パンフレットや国際イベント英語ポスター(4種)など受注し制作した。

(ハ) Webサイトの保守・管理代行

- 5件のWebサイトの保守管理を継続業務として請け負った。

③その他

(イ) 相談機関等での面談・電話通訳

- 東大阪市男女共同参画センター「イコーラム」多言語相談業務
今年度の実施はなかったが、遠方への通訳者の現地派遣が困難なため、今年度よりビデオ会議ツールを活用した遠隔通訳対応も可能とするよう契約内容を変更した。
- 兵庫県女性家庭センター 外国人相談者に係る通訳
実施3件(ベトナム語2、タガログ語1)
関連研修会開催時に、登録通訳者へ適宜案内。
- 神戸市介護保険コミュニケーション・サポート事業(中国語、英語、スペイン語)
実施なし
- 兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課「兵庫県外国人結核患者指導にかかる通訳者コーディネート業務」
実施なし
- 神戸市保健福祉局健康部予防衛生課「神戸市結核患者等医療通訳業務」
実施11件(英語1、ベトナム語9、ネパール語1)
- 西宮市外国人結核患者保健指導にかかる医療通訳
実施なし

(ロ) 災害・非常時等の翻訳・通訳

- 神奈川県(有償)「災害時・非常時多言語緊急情報翻訳業務」(11言語)受託契約を継続。
実施22件7言語1,337,050円(昨年度の1件8言語97,200円に比べて大幅増)
- 兵庫県国際交流協会(有償)「災害時・非常時多言語緊急情報翻訳業務」(6言語)受託契約を開始。(2020年8月)
実施29件5言語1,817,200円

(ハ) 年間契約による一般翻訳

- 芦屋市「公用文翻訳単価契約」受託契約を継続。(昨年度までの3言語から9言語に増加)
実施20件4言語1,507,093円
- 公益財団法人太平洋人材交流センター(PREX)Webサイト翻訳及び更新(英語)
実施、翻訳7件176,000円、サイト更新1件

多言語センターFACIL 2020年度(2020年4月～2021年3月) 一般翻訳通訳・多言語企画事業の状況

※実施事業は、4月1日～3月31日の間に納品完了した医療通訳以外の案件。内容・言語の重複あり。(3月31日時点で代金未収のものを含む)

実施事業(依頼者種別)			(参考: 2019年度)	
依頼者	件数	金額	件数	金額
行政	164	¥16,209,985	188	¥17,646,045
学校・病院・その他施設	121	¥5,903,237	65	¥4,325,067
民間(企業、団体)	321	¥29,217,623	426	¥28,864,367 ※
個人	92	¥1,744,495	117	¥1,894,379
合計	698	¥53,075,340	796	¥52,729,858 ※

▶前年度より98件減少、345,482円増加(受注単価9795円UP)

※納品完了が延期になり年度をまたいだ案件について会計に合わせて修正

実施事業(内容別)			(2019年度)	
依頼内容	件数	金額	件数	金額
翻訳	498	580		
通訳(医療通訳以外) 相談窓口通訳を含む	140	131		
レイアウト(印刷) 翻訳付含む	7	14		
レイアウト(WEB) 翻訳付含む	12	13		
語学講師		7		
ナレーション 翻訳付含む	21	27		
講演・研修講師	12	21		
その他 ・JICA研修(防災) ・多文化共生イベント企画(助成金事業含む) ・Webサイト保守、コンサルティング ・フィールドワーク受け入れ ・音声データ文字起こし 等	8	22		
合計	698	815		

登録翻訳通訳者

対応言語

70言語

登録翻訳通訳者

1510人

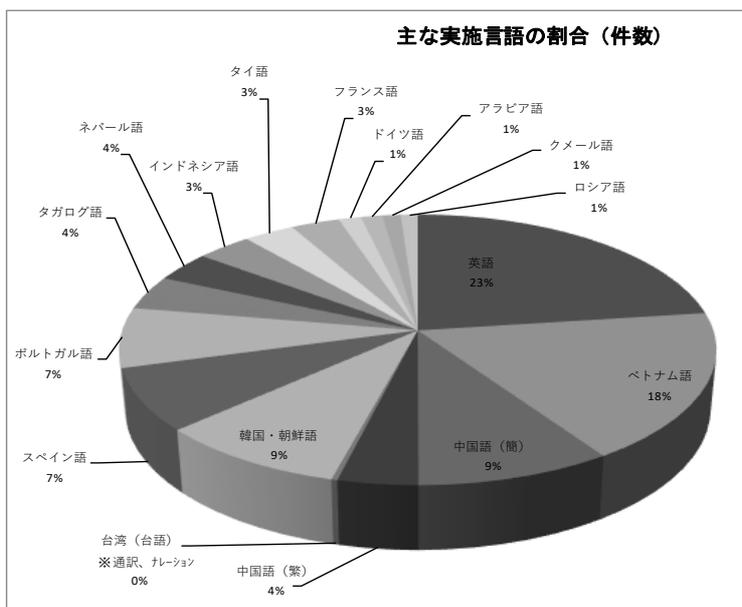
2020年度
発注先

180人/団体

(2019年度より34人減)

実施事業(言語別)			(2019年度)	
依頼言語	件数	金額	件数	金額
英語	325	514		
ベトナム語	253	127		
中国語(簡)	132	165		
中国語(繁)	54	102		
中国語(普通話・北京) ※通訳、ナレーション	8	22		
中国語(広東語)	0	2		
台湾(台語) ※通訳、ナレーション	4	2		
韓国・朝鮮語	129	137		
スペイン語	106	37		
ポルトガル語	102	41		
タガログ語	58	29		
ネパール語	51	17		
インドネシア語	49	32		
タイ語	45	31		
フランス語	43	37		
ドイツ語	20	17		
ミャンマー語	19	13		
アラビア語	19	11		
マレー語	18	6		
クメール語	16	9		
ロシア語	15	16		
モンゴル語	12	3		
ヒンディー語	8	1		
イタリア語	7	6		
シンハラ語	6	0		
スワヒリ語	2	0		
ラオス語	1	2		
その他(ウズベク、ウルドゥ、ペルシャ、ビサ)	4	8		
日本語	59	73		
合計	1565	1460		

▶前年度より言語の偏りが減り、希少言語を含む多言語化が進む。



*日本語には「やさしい日本語」、日本語による講演、ヒアリング含む。

*2019年度「その他」に含まれる言語=トルコ語、ウルドゥー語、オーストリア語、チェコ語

実施事業例（受注金額20万円以上の案件）

■翻訳、通訳

区分	実施内容	依頼者	言語
翻訳	利用規約翻訳	企業（制作）	英・中（簡）・韓・越・葡
	ごみカレンダー	加東市	英・葡・仏・西
	京漆器「象彦」ウェブサイト 4言語翻訳	企業（デザイン）	英・中（簡）・中（繁）・仏
	新卒採用サイト更新翻訳	企業（介護）	中（簡）・越
	兵庫県での生活アンケート5言語	兵庫県	西・葡・越・ネパール・インドネシア
	SCNビジネススキーム資料（PPTファイル）翻訳	企業（IT）	英
	加東市民病院 診療・入院等案内文書3種翻訳 3言語	加東市	タガ・中（簡）・越
	在留外国人に対する周知文 計3文書（14言語）	出入国在留管理庁	英・中（簡）・中（繁）・韓・西・葡・タガ・タイ・越・インドネシア・モンゴル・クメール・ミャンマー・ネパール
	コロナ宿泊施設注意事項14言語	岐阜県	英・中（簡）・葡・タガ・越・韓・インドネシア・クメール・西・タイ・ネパール・マレー・ミャンマー・モンゴル
	（本文）ひょうご多文化共生社会推進指針翻訳	兵庫県	日
	神戸大学 灘区社協アンケート	神戸大学	英・韓・西・葡・タガ・中（簡）・越・インドネシア・アラビア・ミャンマー・ネパール・ヒンディー
	小牧市多文化共生推進プラン	企業（調査）	英・葡・中（簡）
	日本語教育実態調査WEBアンケート翻訳6言語	（公財）山口県国際交流協会	葡・タガ・タイ・インドネシア・クメール・ネパール
	通知表・災害共済加入等文書翻訳2言語	芦屋市	英・西
	医療通訳アンケート	東京大学	韓・西・葡・中（簡）・越・インドネシア・タガ
	加東市外国語生活ガイドブック2種	加東市	インドネシア
	観光パンフレット 翻訳6言語	高野町	西・タイ・中（繁）・仏・独・イタリア
	多言語生活ガイド西宮市版 更新・新規	西宮市	韓・西・葡・仏・越
	HPの翻訳JA-EN, CN, ID	企業（制作）	英・インドネシア・中（簡）
	大学院パンフレット・Webページ	兵庫県立大学	英・中（簡）
	加東市外国語生活ガイドブック2種	加東市	仏
	京都市多言語進路ガイダンス資料	京都市	英・越・韓・中（簡）・露・タイ・タガ・西・ネパール
	福島イノベツリズム ホームページ原稿 翻訳	個人	英
	CLAIR 多言語生活情報の閉鎖に係る翻訳及びHP更新	（一財）自治体国際化協会	英・韓・中（簡）・西・葡・タガ・タイ・越・インドネシア・仏・独・露・ミャンマー・やさ日
	暮らしの便利帳の翻訳 JA-VN	池田市	越
	住民アンケート翻訳及びWebフォーム作成	兵庫県立大学	英・中（簡）・日
	メンタルヘルスに関するレクチャー資料（12言語）	（公財）かながわ国際交流財団	英・韓・西・葡・タガ・タイ・中（簡）・ネパール・越・インドネシア・クメール・ベルシャ
	教育関係者のためのリスク対応Eラーニング	大阪大学	英
	芦屋市生活保護のしおり	芦屋市	英・韓・中（簡）
	（概要）ひょうご多文化共生社会推進指針翻訳	兵庫県	英・韓・西・葡・中（簡）・越・日
	堺市就学援助制度及び奨学金制度関連書類 翻訳	堺市	英・韓・西・葡・タガ・中（簡）・越
	緊急事態宣言関連 18言語	内閣官房	英・中（簡）・韓・西・葡・タガ・越・インドネシア・仏・独・露・中（繁）・イタリア・アラビア
	乳幼児健診資料	福知山市	英・葡・タガ・西
	たかつき生活ガイド3言語	企業（システム）	英・韓・中（簡）
	三井寺 文化財多言語解説情報 翻訳（6言語）	企業	西・越・インドネシア・ヒンディー・アラビア・マレー・ヒンディー
	暮らしの便利帳 3言語	小林市	英・中（簡）・越
	宇部市「外国人住民のための生活ガイドブック」	行政	英・韓・タガ・インドネシア・中（簡）・越・中（繁）
	善通寺 文化財情報 文字（アプリ等）/音声（ナレーション）データ用翻訳	企業（デジタル事業）	英・インドネシア・マレー・西・仏・タイ・葡
	三井寺 文化財多言語解説情報 補足資料・ウェブサイト用語翻訳（6言語）	企業（デジタル事業）	中（繁）・タイ・仏・マレー・インドネシア・越・ヒンディー・西・アラビア
	要介護認定 認定調査員テキスト	企業（翻訳通訳、語学教育）	独・仏・モンゴル
翻訳 レイアウト（印刷）	展示用ポスターデザイン（英語）4種（8案）	日本司法支援センター（法テラス）	英
翻訳 ナレーション	「正しい採寸方法」動画字幕翻訳・ナレーション JICA FMYデジタル教材作成	企業（制作） JICA関西	英・中（繁）・台湾（台語）・韓・越・葡 英・日
通訳	神戸大学医学部附属病院での治療における通訳	企業（医薬品）	韓

■コンテンツ制作など（ナレーション、印刷、Webサイト） ※通訳を伴わない案件

ナレーション	ネイティブ英語教材制作用 ナレーション	企業（制作）	英
	善通寺音声コンテンツ ナレーション	企業（デジタル事業）	西・インドネシア・マレー
	三井寺 文化財多言語解説情報 ナレーション（7言語）	企業（デジタル事業）	台湾（台語）・西・インドネシア・アラビア・マレー・ヒンディー・越
レイアウト（WEB）	ホームページ保守管理	法律事務所	日
	ホームページ リニューアル	法律事務所	日

■講師、多文化企画など ※主ではないが一部に通訳を伴う案件を含む

講演・研修講師 その他	国際看護実習Ⅱ	学校（私立大学）	日
----------------	---------	----------	---

(2) 医療通訳事業

<業務総括>

2020年4月から新実施要領施行により、遠隔通訳導入がシステム参加への基本的条件となった。それに伴い協力病院が前年度までの10から7病院に減った。新実施要領では、年会費（前年度同行利用実績1~10件まで16,000円/年）に加え、遠隔機器利用に伴う月額利用料（12,000円/月）がかかるため、利用件数の少ない病院では、協定に入らず必要なときのみコミュニティ通訳（15,000円/2時間まで）として利用するほうが負担額が少なくなると判断されたためである。医療通訳の実施総数は前年比約60%であった。理由として、協力病院が前年度より減ったことや、神戸万国医療財団（KIMF）寄付金の運用方針の変更に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により一般患者が通院を控える現象があったようだ。検証会は、例年ひとつの会場に全関係団体の担当者が参加し開催していたが、密を避ける必要があり病院ごとに訪問するなどして会合を持ち、実施状況の確認・遠隔通訳の利用促進要請等を行った。

遠隔通訳の協力企業である株式会社東和エンジニアリングの都合により、FACIL事務所に常駐するベトナム語通訳者の勤務時間が短縮されるという思いがけないコロナの影響もあったが、遠隔通訳利用件数自体は徐々に増加し前年度を大幅に上回り、最終的に同行通訳件数より多かった。

公益財団法人兵庫県国際交流協会（HIA）「令和2年度医療機関における外国人患者受入れ環境整備助成事業」の助成300万円を、遠隔通訳実施に伴う管理、導入促進・啓発等の普及活動に活用した。

一般財団法人寺山財団より頂戴した寄付金800万円を活用し、医療通訳同意書等改訂・翻訳、新実施要領に伴う広報物の作成、外部団体主催研修会参加費の補助、通訳者向け講座の開催等、コーディネート及び遠隔通訳業務を円滑にするための環境整備等を行った。

①医療通訳システム事業

新実施要領の施行に伴い、参加医療機関に遠隔通訳が導入された。コロナ等の感染症から通訳者の負担を軽減するベースがある程度は整った。しかし、年々増加している希少言語（ネパール語、アラビア語等）の依頼では、タブレットを利用した遠隔対応が整備されていない（電話通訳は可能）ため、同行通訳者の確保が依然として課題であり、サポート体制の充実も必要である。市立加西病院が次年度からのシステム新規加入を検討し、2021年2月からトライアル利用を開始した。

(イ) 実績

実施数は、同行通訳333件、遠隔通訳362件。（詳細は14~15ページ参照）

【協力病院（計7病院）】

神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院
神戸市民病院機構 神戸市立医療センター西市民病院
神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター
神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院
神戸大学医学部附属病院
兵庫県立こども病院
北播磨総合医療センター

（2020年度システム参加費合計1,349,650円）

(ロ) 検証会議

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、病院ごとの分散開催とした。2019年度実績報告、2020年度の対応状況の聴取、キャンセルの取り扱い、同意書等の改訂・多言語化について討議。遠隔通訳の利用促進（特にコロナの影響や緊急時等、電話利用）を要請。

- ・ 8月20日（於：神戸市民病院機構法人本部）
神戸市民病院機構法人本部経営係、神戸市立医療センター中央市民病院、同西市民病院、同西神戸医療センター、同神戸アイセンター病院、神戸市市長室国際部国際課、東和通訳センター
- ・ 9月10日 神戸大学医学部附属病院
- ・ 9月10日 兵庫県立こども病院

- ・ 10月2日（於：たかとりコミュニティセンター）
兵庫県産業労働部国際局国際交流課、兵庫県国際交流協会、神戸市市長室国際部国際課

②Kobe International Medical Foundation（KIMF／神戸万国医療財団） （2020年10月～／100万円）

2020年10月に新たに100万円を受領。システムに参加していない病院等での寄付金利用が年々増加していたが（2019年度は100件）、通訳料金を負担しているシステム参加医療機関との不公平が顕著になったため、協定病院、協定外病院ともに、生活保護受給者である患者に限定して寄付金を適用することとした。実施数は16ページ参照。また、協定外病院で寄付金による通訳利用があった際には、病院担当者の署名による「寄付金利用書」を提出してもらうことをきまりとした。

使用用途

医療通訳システム事業参加医療機関以外の病院への医療通訳派遣（同行通訳：病院・患者負担分15,000円）、生活保護受給者のシステム参加医療機関での医療通訳料金患者負担分免除（遠隔通訳：1,500円、同行通訳：2,500円）、遠方から赴く通訳者の交通費補助（往復1,000円を超えた分、システム参加医療機関も含む）、これらに係るコーディネート費、寄付金利用病院への利用書送付・受領に係る通信費、料金改訂チラシ12言語翻訳料

② HIA 兵庫県国際交流協会 医療機関における外国人患者受入れ環境整備事 （医療通訳コーディネート：100万円、遠隔通訳の導入促進および実施：200万円）

（イ）医療通訳コーディネート

①を参照

（ロ）遠隔通訳の導入促進および実施

遠隔通訳実施に伴う管理

- ・ 当事務所に常駐し遠隔医療通訳を担うベトナム語医療通訳者をシフト制で確保
- ・ 基本3名の都合がつかない場合や、急遽休みの場合、エキストラで担当を依頼
- ・ 各通訳者の出退勤・労務管理
- ・ 通訳者への毎月の支払
- ・ 遠隔医療通訳後の報告書の記載補助および確認
- ・ 各医療機関への請求・入金確認
- ・ 遠隔医療通訳事業者への支払
- ・ 毎月の医療通訳勉強会の通訳者への案内と参加者管理
- ・ 医療通訳勉強会データの管理
- ・ ベトナム語通訳者への遠隔通訳に関する補助や指導（遠隔対応やマナー等）
- ・ 医療通訳者および遠隔医療通訳事業者へ本事業の状況の伝達と理解および協力要請
- ・ 実績の集計と関係各所への情報共有と報告

医療機関への説明

- ・ 遠隔通訳導入促進のための医療通訳システム事業実施要領の改訂に伴う患者向け案内、院内周知用資料、新規医療機関向けの説明資料の作成

導入促進

- ・ 神鋼記念病院（2020.6.11）
- ・ 神戸赤十字病院（2020.6.29）
- ・ 神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター（2020.9.10）
- ・ 市立加西病院（2021.2.24）

促進にかかる調査、発表、啓発等

- ・ 神戸学院大学講義（2020.6.26）
- ・ 関西国際大学保健医療学部看護学科統合実習（2020.7.6、7.7、7.8、7.9）
- ・ 灘中学校公民授業（2020.10.20）
- ・ 大手前大学国際看護学部実習（2020.12.3、12.10）
- ・ 一般社団法人全国医療通訳者協会（NAMI）の全国大会シンポジウム「医療安全から考える言葉の壁」にて FACIL の事例紹介（2020.12.6）
- ・ 神戸国際協力交流センター 災害時通訳翻訳ボランティア研修（2021.1.30）

- ・ FACIL 研修「外国人として日本に暮らすということ」(2021.2.21、2021.3.20)
- ・ 大阪市立総合生涯学習センター主催市民セミナー(2021.3.12)

促進や運用にかかる関係者ミーティング

- ・ 医療通訳検証会－神戸市民病院機構(2020.8.20)
神戸市民病院機構法人本部経営係、神戸市立医療センター中央市民病院、同 西市民病院、同 西神戸医療センター、同 神戸アイセンター病院、神戸市市長室国際部国際課、東和通訳センター
- ・ 医療通訳検証会－神戸大学医学部附属病院(2020.9.10)
- ・ 医療通訳検証会－兵庫県立こども病院(2020.9.10)
- ・ 医療通訳検証会報告および来年度以降の打ち合わせ(2020.10.2)
兵庫県産業労働部国際交流課、HIA 多文化共生課、神戸市市長室国際部国際課

遠隔通訳向上のための医療通訳勉強会等

- ・ 東和通訳センターMedi-Way 勉強会
「後呼吸困難、くも膜下出血、医療倫理」(2020.4.18)、「COVID-19」「腹痛」(2020.5.23)、「統合失調症」「がん患者と家族の心のケア」(2020.6.20)、「自己免疫疾患」(2020.7.18)「新型出生前診断(NIPT)」「高度肥満に対する外科治療」(2020.8.19)、「小児医療」(2020.9.26)、「終末期医療」(2020.10.31)「終末期医療」「脳死臓器移植 神経科精神科 問診表および評価シート(レシピエント用)」(2020.11.21)、「重篤な子どもの治療ガイドライン(2020.12.19)」、「特殊な感染症」(2021.1.30)、「内分泌疾患(下垂体前葉ホルモン)」「腹痛」(2021.2.27)「内分泌疾患2(下垂体前葉ホルモン2)」「頭痛」(2021.3.27)
- ・ 一般社団法人全国医療通訳者協会(NAMI) CHIP 研修(2020.7.23、2020.7.24、2020.8.22、2020.8.23、2020.10.17、2020.10.18、2020.11.22、2020.11.23、2021.1.23、2021.1.24)
- ・ 医療通訳研究会 MEDINT ベトナム語分科会(2020.10.25、2020.11.29、2021.1.17、2021.3.7)

④寺山財団の寄附(医療通訳コーディネート:800万円)

(イ)遠隔通訳の本格実施に伴うコーディネート業務、および、同行通訳のコーディネート業務

新型コロナ感染拡大防止のため FACIL から病院へ遠隔通訳の利用を強く促したことも、遠隔通訳利用促進につながった。しかし、依然として同行通訳への要望は多く、特に希少言語の依頼が増えてきている。同行通訳の必要な場面にはしっかりとサポートを実施しつつ、感染防止や数少ない通訳者の負担軽減のために、引き続き遠隔通訳の促進をはかる。

(ロ)登録通訳者向け医療通訳研修「外国人として日本に暮らすということ」企画、開催(2021.2.21、3.20)

FACIL 初の Zoom 開催であった。講師及び参加者も海外在住者を含め延べ 73 人が参加した。コロナ禍での在住外国人の医療・労働状況等を広く学ぶ有意義な研修となった。

(ハ)医療通訳者の育成

- ・ 一般社団法人全国医療通訳者協会(NAMI)
「CHIP(Critical Healthcare Interpreters' training Program)研修」参加費補助(ベトナム語、中国語/モンゴル語、ネパール語:課程終了)
「感染症(COVID-19)対応 遠隔医療通訳入門」
- ・ 医療通訳研究会(MEDINT)「ベトナム語分科会」
- ・ 特定非営利活動法人チャーム(CHARM)「2020 感染症医療通訳研修」
- ・ 一般社団法人日本公共通訳支援協会(Cots)「遠隔通訳フォーラム 2020～遠隔通訳 vs 対面通訳」
- ・ 一般社団法人りんくう国際医療通訳翻訳協会(IMEDIATA)「大阪医療通訳パネル・ディスカッション」

(ニ)コーディネート業務及び遠隔通訳業務を円滑にするための環境整備

- ・ 通訳者席にキャスター付きキャビネット購入
- ・ 通訳者及びコーディネーター用にヘッドセット・Webカメラ・イヤホンの購入

- 遠隔通訳の本格実施に伴う、医療通訳申込書改訂版多言語併記 2 種作成（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語、ロシア語、タイ語、アラビア語の更新。ネパール語、ミャンマー語を新規追加）、同意書改訂版作成・翻訳と 7 言語追加作成（フランス語、ドイツ語、イタリア語、マレー語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語）
- 医療通訳システム理解促進のための病院掲示用ポスター・病院その他関係機関配布用リーフレットおよびチラシの制作

2020年度 医療通訳実施件数集計(同行)
(2020年4月1日～2021年3月31日)

1. 通訳総件数 333 件

(患者数: 82名)

2. 月・病院別

	中央市民病院			アイセンター病院			西市民病院			西神戸医療C			神大病院			県立こども病院			北播磨総合医療C			計
	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	
4月	5		7		1		6			1			1			6						20
5月	8		2				6			1	1		4		1	2						21
6月	18		2				3						6			2						29
7月	9		2				1			1			7			2		1				20
8月	11		1				2						11			2						26
9月	25	1					3						13			5						47
10月	18		3				4						8	1	1	4						35
11月	13	1	1				5						19									38
12月	8	3	3				4			3			6		1	3	1					28
1月	10		2				2	1		2			10			1						26
2月	6		1							1		1	10		1	1						18
3月	9		1							1			12		1	3						25
計		145	25		1	0		37	0		10	2		108	5		32	1				333

※電話対応も含む。

3. 言語・病院別

	中央市民病院			アイセンター病院			西市民病院			西神戸医療C			神大病院			県立こども病院			北播磨総合医療C			計
	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	
ベトナム	1		1				3															4
中/北京	33	2	11		1		5	1					57		3	3						102
中/広東	19												4									23
英語	47	2	7							7		1	18	1	1	4	1					80
スペイン	1		1										8			6						15
ポルトガル	2		1										12			3		1				17
韓国朝鮮	1																					1
ロシア																						0
タイ																						0
インドネシ	16		1																			16
アラビア	6		2							2	1	1				15						24
タガログ							4															4
モンゴル													8		1							8
ネパール	14	1	1				24															39
計		145	25		1	0		37	0		10	2		108	5		32	1				333

※キャンセル有: キャンセルとなり、キャンセル料金発生

※無: キャンセルとなったが、キャンセル料金発生なし(合計件数に含まない)

4. 診療科別

受診科	中央市民病院	アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	神大病院	県立こども病院	北播磨総合医療C	計
総合内科	3				5			8
総合診療科								
循環器内科	4				1	1		6
消化器内科	28		1		7			36
呼吸器内科	3		6					9
腎臓内科	2				1			3
血液内科/血液腫瘍内科 /免疫血液内科	8							8
糖尿病・内分泌科	6							6
神経内科	2				1			3
精神・神経科	2				5			7
婦人科・産婦人科	43		28	6	26	1		104
小児科	4							4
形成外科	1							1
整形外科	4		1		13	21		39
乳腺外科								
乳腺内分泌外科	6				1			7
心臓外科								
心臓血管外科	1				5	5		11
脳外科・脳神経外科	1							1
外科	1		1		2	2		6
泌尿器科	2				10	1		13
眼科						1		1
皮膚科				3				3
耳鼻咽喉科	3				1			4
歯科・歯科口腔外科	11				4	1		16
麻酔科	2				2	1		5
化学療法室								0
救急外来/ER								0
その他	16				27			43
計	153	0	37	9	111	34	0	344

※その他-脳神経内科、感染症科、一般内科女性外来(中央市民病院)、食道胃腸外科、肝胆膵外科、感染症内科、膠原病リウマチ内科(神大病院)、入院前検査センター(こども病院)

2020年度 医療通訳実施件数集計(遠隔)
(2020年4月1日～2021年3月31日)

1. 通訳総件数 **362 件**

2. 月・病院別

	中央市民病院	アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	北播磨総合医療C	神大病院	県立こども病院	計
4月	2		13				1	16
5月	2		14	2				18
6月	1		22	2		1		26
7月	1		19	1				21
8月	3		18	1		1		23
9月	1		32	1			1	35
10月	3		34	1	1			39
11月	1		34	1				36
12月	1		39	2	3			45
1月	5		25		1			31
2月	2		30			1		33
3月	7		32					39
計	29	0	312	11	5	3	2	362

3. 言語・病院別

	中央市民病院	アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	北播磨総合医療C	神大病院	県立こども病院	計
ベトナム	7		297		1	1	2	308
中/北京	8		8			1		17
英語	12		7	11		1		31
スペイン	2				3			5
ポルトガル					1			1
韓国朝鮮								0
ロシア								0
タイ								0
インドネシア								0
タガログ								0
モンゴル								0
ネパール								0
ミャンマー								0
クメール								0
マレー								0
イタリア								0
ドイツ								0
フランス								0
計	29	0	312	11	5	3	2	362

4. 診療科別(子ども病院以外)

受診科	中央市民病院	アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	北播磨総合医療C	神大病院	県立こども病院	計
総合内科			1	2				3
総合診療科								
循環器内科			12					12
消化器内科	4		11					15
呼吸器内科			8					8
腎臓内科			9			1		10
血液内科/血液腫瘍内科/免疫血液内科							1	1
糖尿病・内分泌内科	2		12					14
感染症科								14
神経内科				4				4
精神・神経科	8				1			9
婦人科・産婦人科	6		264					270
小児科	1		8		1		1	11
形成外科								0
整形外科								0
乳腺外科								0
乳腺内分泌外科								0
心臓外科								1
心臓血管外科	1							1
脳外科・脳神経外科	2							2
外科								0
泌尿器科	1		4					5
眼科								0
皮膚科								0
耳鼻咽喉科	3		1					4
歯科・歯科口腔外科								0
麻酔科								0
検査	1							1
化学療法室								0
救急外来/ER					1			1
集中治療室								0
受付等事務手続き(入退院時含む)	12		1			1		14
その他(未回答含む)			2	6	2	1		11
計	41	0	333	12	5	3	2	410

※1件で複数の診療科等での利用があるため計は病院別と異なる。

その他:リウマチ膠原病内科(西市民病院)、脳神経内科(西神戸MC)、肝胆膵外科(神大病院)、病棟(診療科不明、北播磨MC)

KIMF 2020年度(2020.4.1～2021.3.31) 医療通訳派遣数集計

協定外病院通訳件数：
15

生活保護受給者への支援：
18

交通費補助：
66

【区分】

- ①協定外病院3500円+コーディネーター2500円（6000円）
- ②協定外病院3500円+生活保護受給者負担分補助1500円+コーディネーター2500円（7500円）
- ③協定病院の生活保護受給者負担分補助1500円（1500円）
- ④交通費：通訳者交通費往復1000円超過分を補助

月別実施数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①	9	2											11
②			1					2				1	4
③	1							3	3	4	1	2	14
④	10	10	10	3	5	7	2	6	1	4	2	6	66
(重複)	(1)												(1)
計	19	12	11	3	5	7	2	11	4	8	3	9	94

キャンセル0円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 5

言語別実施数

	中国語（北京）	中国語（広東）	スペイン語	ポルトガル語	ベトナム語	英語	ネパール語	モンゴル語	アラビア語	計
①	1	2	4	3		1				11
②			3			1				4
③	7				7					14
④				4	1		30	8	23	66
(重複)				(1)						(1)
計	8	2	7	6	8	2	30	8	23	94

キャンセル0円 1 1 1 1 1 1 2 5

医療機関別実施数

	神戸市立医療センター中央市民病院	神戸市立医療センター西市民病院	神戸大学医学部附属病院	神戸市立西神戸医療センター	兵庫県立こども病院	平井歯科医院	隈病院	加古川市民病院	岡本クリニック	神鋼記念病院	森寺内科	件数計
	神戸市中央区	神戸市兵庫区	神戸市中央区	神戸市西区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	加古川市	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	
①						1	6	1	1	1	1	11
②										4		4
③	7	6	1									14
④	19	18	8	2	18			1				66
(重複)								(1)				(1)
計												94

キャンセル0円 2 1 1 1 1 1 1 5

(3) 多文化企画事業

①研修企画、講師派遣・紹介等

(イ) 職員の講師派遣等

多言語センターFACIL 2020年度(2020年4月～2021年3月)

職員の講師実績

実施日	内容	依頼元
7月9日	統合看護実習(国際看護学)	関西国際大学
8月7日	国際看護実習Ⅰ	大手前大学国際看護学部
8月26日	大阪ガス「Reスタート」イベントの登壇	(特非)チュラキューブ
9月4日	フィールドワーク受入	神戸大学国際人間科学部
10月20日	地域NPO活動インタビュー	灘中学校
12月2日	ゲストスピーカー講師	京都外国語大学
12月10日	国際看護実習Ⅱ	大手前大学国際看護学部
12月21日	講義出講 人権教育科目009	関西学院大学 教務機構
1月30日	災害時通訳ボランティア登録時／フォローアップ研修 講師・ワークショップ指導 2020	(公財)神戸国際協力交流センター
3月7日	『共生学宣言』合評会 ゲストスピーカー	大阪大学 人間科学研究科
3月12日	市民セミナー講師	大阪市立総合生涯学習センター
3月21日	災害時ボランティア研修会	(公財)八尾市国際交流センター

(ロ) 2020年度神戸市「KOBE PR アンバサダー」事業運営業務

公募型プロポーザルに挑み受託には至らなかったが、提案型事業の拡充という今後へ向けたよい挑戦となった。

(ハ) 芦屋市 多文化共生理解講座の企画コーディネート

コロナ禍ということもあり、今年度は実施に至らず。

②JICA 研修関連

(イ) JICA 課題別研修

かねてから FACIL が提案している新たな課題別研修「多様性と社会参画」が、JICA 関西の方針により「責任ある外国人材の受入れと帰国後の活躍の支援制度の改善」として技能実習生に焦点をあてるかたちで進んでいる。

また、昨年度から「多様性と社会参画」の実現へ向け「多様性を力とするまちづくり」をコアとしてあらゆる分野の JICA 研修に入れていく方針であったが、今年度はコロナの影響もありその機会はなかった。

(ロ) ベトナム人防災リーダー育成

JICA 関西は「誰一人取り残さない防災の強化」に取り組むため、FACIL と FM わいわいの協力のもと、在住ベトナム人の防災リーダーを育成するプロジェクトを準備してきた。その一環として 2020 年度には 2 回イベントを実施、2021 年からの本格実施にむけ、FACIL、FM わいわい、プラスアーツで受託すべく調整を開始した。

(ハ) 日系社会研修員受入事業

FACIL とひょうごラテンコミュニティ協働で 2022 年度の受け入れの提案団体としての申請に向け調整を開始した。

(二) ボリビア草の根案件申請準備

吉富がトヨタ財団事業及び科研事業として継続して関わりを持っているサンタクスのオキナワ村にて JICA 草の根事業を実施すべく、申請に向けた準備活動を進めている。コロナの影響にて現地への渡航はできなかった。

③新電力代理店業務を通じた地域、人、自然が共生する社会を広げる事業

シン・エナジー株式会社とひょうごラテンコミュニティとともに、ことばの壁が原因で電力自由化にとまらぬサービスを受けない住民のために電力会社の切替えをサポートする事業を行うための準備を行った。

④世界の食とおもてなしサービス

世界の多様な魅力を地域社会へ紹介してきた経験と、アグリツーリズム事業で培った地域の魅力を世界へ発信する経験という双方向の実績を活かすべく受注体制は取り続けているが、今年度は実施に至らず。

(4) その他事業

①たかとりコミュニティセンター (TCC) 関連事業等

- ・ 総会、理事会、事務局連絡会の議案、議事録・各種資料準備
- ・ 会計処理業務
- ・ 事業報告書等の所轄庁への提出、定款・役員の変更手続き、登記等、運営全般
- ・ コロナウイルス対策ガイドラインの作成
- ・ フィールドワークとオリエンテーションの受け入れ など

②TCC IT委員会

中心的メンバーとして参加

③外国人コミュニティへのサポートなど

関西ブラジル人コミュニティ、ベトナム夢 KOBE、ひょうごラテンコミュニティに対して必要に応じたサポートを継続。また、公益財団法人兵庫県国際交流協会、上記の三つの外国人コミュニティ、たかとりコミュニティセンターの三者協定による外国人県民サポート事業の実質上のアドバイス役を担った。

④新型コロナウイルス関連多言語支援活動

コロナ禍において、日本で暮らす外国人の人々が、確かな情報と支援の手が届かず、セーフティネットの網の目から取りこぼされ、より困窮した状況に追い込まれてしまわないように、翻訳・通訳サービスを通して、情報提供や生活相談を行う NGO などの市民活動を後方支援していくことを目的に事業を実施した。

(イ) ボランティア登録者数：201名

FACIL とひょうごラテンコミュニティ協働で 2022 年度の受け入れの提案団体としての申請に向け調整を開始した。

(ロ) 対応可能言語：全 30 言語

英語、中国語、スペイン語、ベトナム語、韓国語、タイ語、フランス語、インドネシア語、タガログ語、ロシア語、広東語、台湾語、ネパール語、北京語、ポルトガル語、イタリア語、マレーシア語、ミャンマー語、アラビア語、カタルーニャ語、シンハラ語、ドイツ語、客家語、ヒンディー語、福建語、ヘブライ語、ペルシア語、モンゴル語、トルコ語、ラオス語

本事業実施にあたり、従事するスタッフの人件費の一部と翻訳・通訳者への謝金、本活動で翻訳した多言語支援情報をまとめたポータルサイトの制作と広報にかかる費用に、三菱財

団と中央共同募金会の共同実施の助成金（「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」）と寺山財団からの寄付金を充当した。

(ハ) コロナウイルス関連情報の多言語での提供

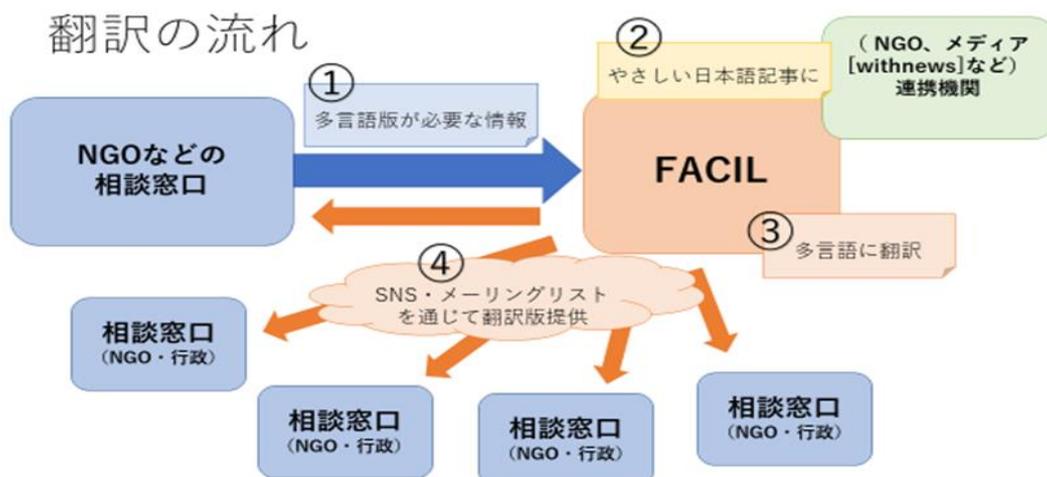
NGO や外国人コミュニティの相談窓口でも活用できる（コロナウイルスの影響に関連する）制度、補助金・助成金等の給付、支援、啓発に関する情報を多言語でホームページを通して提供。SNS のグループでの拡散を通して、外国人住民がホームページに掲載された情報に直接アクセスしやすいようにした。

内容については、コロナ禍が日常化するにつれて、困窮する外国人住民へのお知らせとして緊急に伝達すべき情報よりも、こうした状況下において活用できる支援制度について、在留資格等の変更措置などについてより詳しく伝える情報のほうが重要度が高いと判断し、原稿として取り上げ多言語で提供してきた。事業完了時に翻訳した多言語支援情報をまとめた全 19 言語のサイトを制作し公開した。

- ・ 件数（頻度）：月 1～2 情報
- ・ 翻訳言語数：各原稿情報に応じて、8～18 言語（平均 15 言語）で対応
- ・ 翻訳実施言語：19 言語
- ・ サイト名：「コロナで困っている外国人住民のための多言語情報」

<https://tcc117.jp/facil/covid-ml-info/>

- ・ 連携機関（情報提供・日本語原稿編集・翻訳協力等）
 - NPO 法人たかとりコミュニティセンター（神戸市）
 - NGO 神戸外国人救援ネット（神戸市）
 - ひょうごラテンコミュニティ（神戸市）
 - ベトナム夢 KOBE（神戸市）
 - 関西ブラジル人コミュニティ（神戸市）
 - 滞日ネパール人のための情報提供ネットワーク（東京都）
 - NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク（東京都）
 - NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会（大阪市）
 - Viva おかざき！！（愛知県）
 - 認定 NPO 法人難民支援協会（東京都）
 - 一般社団法人 kuriya（東京都）
 - NPO 法人 POSSE（東京都）
 - やさしい日本語ニュース／withnews・朝日新聞



加えて、NGO 神戸外国人救援ネットおよび神戸市立医療センター西市民病院からの支援要請に応じて、コロナ禍において困窮した外国人住民をサポートに必要な資料の翻訳を計 4 件行った。

(ニ) コロナウイルス関連情報の多言語での提供

NGO 神戸外国人救援ネットおよび NPO 法人アジア女性自立プロジェクト (AWEP) の要請に応じて、DV 被害に関する弁護士との相談、裁判所での調停、生活困窮者の病院への同行、生活相談会など、計 11 件通訳者を手配した。

- ・ 通訳実施言語：2 言語 (ベトナム語、モンゴル語)
- ・ 件数：11 件
- ・ 通訳サービス提供機関：
 - NGO 神戸外国人救援ネット (神戸市)
 - NPO 法人 アジア女性自立プロジェクト (神戸市)

(ホ) 広報活動等

多言語情報を全国の NGO や行政窓口で活用できるように、公開のお知らせを SNS やメールリングリストを通じて配信するとともに、情報を必要としている外国人が直接情報にアクセスできるように、新たな試みとして多言語支援情報をまとめたポータルサイトに導くために Facebook で広告を 17 言語対応で配信した。配信後にはホームページへのアクセスが確実に増加しており、ユーザーの使用言語や居住エリア、年齢層などをターゲット指定することが可能な SNS 広告が、緊急時等での多言語情報の発信にとっても有効なツールとなりうることを実感することができたのは、新たな発見であった。(※下は日本語、英語、ミャンマー語の広告画像)



また、各自治体や自治体国際化協会、難民事業本部、国際交流センターなどの公的機関のホームページにおいて、本活動で公開した翻訳情報ページへのリンク掲載がなされたことから、活動開始当初に目的としたコロナ禍において社会が必要とする情報を確かな品質で届けていくという一定の役割を果たすことができた。

⑤その他

- ・ FM わいわいより、労務処理と電話対応等の事務の一部の業務を受託
- ・ NPO 法人 CODE 海外災害援助市民センターの運営に参画
- ・ ひょうご市民活動協議会 (HYOGON) の運営に参画
 - 「松原明と考えるウィズ/ポストコロナ時代の社会と市民活動」(5/9、8/23) の実行メンバーとして参加した。また、8/23 の回は新規職員の OFF-JT の場とした。
- ・ NGO 神戸外国人救援ネットの運営に参画
- ・ 大阪ガス株式会社主催のオンラインセミナー「Re スタート！」に登壇したことが縁となり、Web ガスてん「つながるプロジェクト」の寄付対象団体に選出された。
- ・ 神戸外国人救援ネット主催イベント「白系ロシア人と神戸～神戸のチョコレート産業を作り上げた人たち～」(2021.2.23) スタッフとして協力。
- ・ 国際協力同志の会 (HYOMIC) 主催ミーティングを 2 回開催、「多文化共生と国際協力」(2020.3.5)、「防災」(2021.2.3) に幹事として参画。来年度の活動のため、六甲アイランド基金を申請。

- ・ エクセレント NPO 大賞の組織力賞にノミネートされた。惜しくも受賞は逃したが、NPO 団体としての FACIL を幅広い視点から評価するツールと、来年のチャレンジへの足掛かりを得た。

(5) ワールドキッズコミュニティに関する事業

<業務総括>

外国にルーツをもつ子どもたちの成長環境に関する課題について、外国人コミュニティの現場からの声をつなぎながら、その解決に向けてより大きな枠組みで取り組んでいくためネットワークの事務局的な役割を引き受けていけるように、外国人コミュニティと TCC の各団体との連携の強化に引き続き努めた。多様な背景を持つ子どもたちの育成活動（Re:C 事業）に関しては、OB/OG のフォローアップを行いつつ、今後は FACIL のプロジェクトとして提言や啓発活動を中心に継続していくなど、団体の発展的な解消も視野に含めた体制の検討を進めた。

<運営委員>

吉富 志津代 (代表)
 村上 桂太郎 (事務局長)
 松田 陽子 兵庫県立大学経済学部 名誉教授
 金 信鏞 一般社団法人コリア教育文化センター 代表
 山本 則子 神戸市立長田南小学校 非常勤教員
 落合 知子 神戸大学国際人間科学部 准教授
 李 裕美 FACIL 事務局長
 坂田 岳彦 嵯峨美術短期大学 教授

①児童・青少年育成事業

多様な背景を持つ子どもたちの育成活動（Re:C 事業）

- ・ ベトナム夢 KOBE やひょうごラテンコミュニティが行う母語教室や学習支援が年々子どもたちの居場所として幅広く機能していくようになり、実質、Re:C も一通りの役目を果たし、年度を通して具体的な活動は実施しなかったが、OB/OG のフォローアップは引き続き行った。
- ・ Re:C サポーター（賛助会員制度）は活動の休止状態に伴い積極的な呼びかけを行わなかった。そのため、2020 年度の賛助会員は 1 名にとどまった。

②発信・啓発／政策提言事業

- ・ 兵庫県国際交流協会とともに開催してきた母語教育支援研修会の過去 3 年間の内容をまとめた冊子づくりは実施にはいたらなかった。
- ・ 過去に制作した母語教育冊子、性教育ハンドブックの配布を通じて、啓発活動を行った。

③その他、当事者団体との連携等

外国人コミュニティと TCC の各団体との連携の強化に引き続き努めた。

(6) 広報・発信啓発・ファンドレイジング

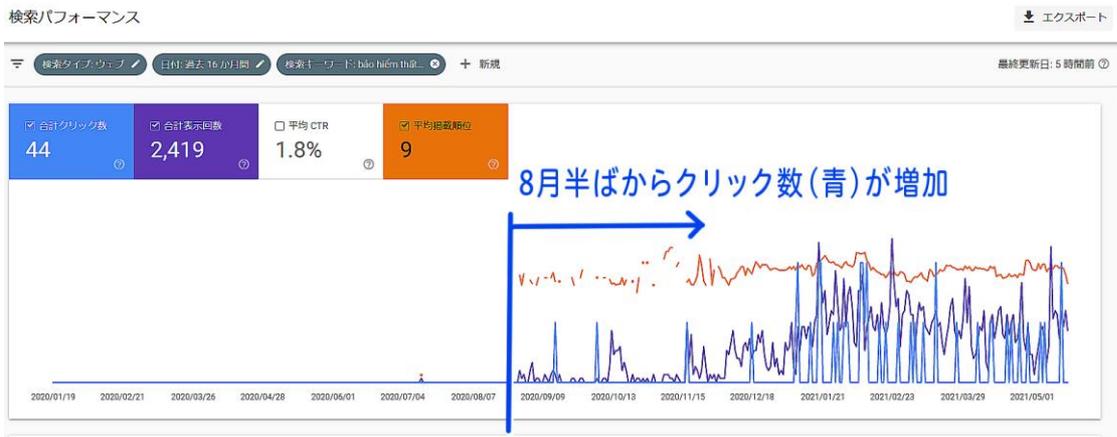
① 広報／発信啓発のためのコンテンツ

(イ) ホームページ運用

FACIL のホームページ

新型コロナウイルス関連多言語情報をターゲット（＝外国人住民）に確実に届けることを強く意識し、検索キーワードの吟味、コミュニティからの聞き取りを基にしたコンテンツ企画を行い、記事を作成した。

（※参考）「bảo hiểm thất nghiệp ở nhật = 『日本の失業保険』」というベトナム語キーワードで FACIL のサイト記事にアクセスされた数データ（順位：オレンジ、クリック数：青）



ワールドキッズコミュニティのホームページ

記事の更新およびサイトの保守管理

(ロ) その他広報制作物

医療通訳広報物（ポスター、チラシ、「医療通訳のてびき」を改訂）

(ハ) SNS、インターネット、メールを活用した情報発信

Facebook

- ・ FACIL 代表・スタッフ、インターン生が適宜投稿。
- ・ フォロワー1,473（2020年度1,099、2019年度784）人
- ・ 「いいね」1,334（2020年度1,015、2019年度860）
- ・ 2020年度の投稿は新型コロナウイルス関連多言語支援活動と連動したコロナ情報記事のリリースやシェアが中心となった。

ブログ

- ・ ブログ記事としてアップした多言語コロナ関連情報には、ベトナム語、中国語、英語ユーザーからもアクセスを集めた。

メールマガジン「FACIL117! だより」（2014年7月～）

FACIL 翻訳・通訳登録者（翻訳・通訳会員）のうちの無料購読希望者が対象（2021年5月12日現在591人）

- ・ 発行方法は、Google グループを利用
- ・ 2021年度の発行号数は、計21号
- ・ 配信内容は、FACIL や協力団体等のイベント案内、活動報告、業務上のヒント、募集情報等。さらに新型コロナウイルス関連多言語支援活動では、プロジェクト発足時期に翻訳ボランティアの募集役も担った。

クラウド型応募フォームツールの活用

新型コロナウイルス関連多言語支援活動のボランティア翻訳者の入力ツールとしてクラウド型 Web 作成ツール「Wix」を導入した。災害時や緊急時でも「すぐに」「簡単に」ボランティア募集できる Web フォーム作成ツールの選択肢が増えた。

②ファンドレイジング

Web を活用した物品などの販売など

外部団体が運営するサービスを活用し、Web を通して寄付につながるしくみを実行した。

(7) 会員・インターン

①会員制度

- ・ 翻訳・通訳登録者 1,608 名
(2021 年 3 月 31 日現在 (2019 年 3 月 31 日現在 1,492 名)、会費なし)
- ・ 正会員 13 名 (会費：5,000 円)
- ・ 賛助会員 2 名 (3,000 円：年会費/月会費 選択制)
- ・ FACIL は、業務遂行上、正会員で協議をするプロセスをとりにくいこともあり、正会員を増やすことには特に積極的ではない方針をとっている。
- ・ 賛助会員 2 名 (年会費 1 名 [2019 年度から 2 名減]、月会費 1 名)
- ・ マンスリー寄付による賛助会員の希望があり、ゆうちょ銀行の毎月引落しサービスへの利用手続きを行った。2021 年 6 月の運用開始までは毎月振込を依頼した。
- ・ ウェブ上で新規登録が可能になって以来、翻訳・通訳登録者が年 100 人ペースで増えているが、データベースへのスムーズな入力が伴っていない。そのため、データベースソフトの移行により登録情報入力を簡便化し、登録者個々の専門分野をさらに活かすべく、翻訳・通訳だけにとどまらない業務内容にも対応させることを期待していたが、移行スケジュールが延期されたため、従来どおりの地道な入力作業に留まった。

②インターンシッププログラム

2020 年度は、14 名のインターン生を受け入れた。近年就職活動の一貫としての企業インターンシップが流行している中、就職に直接つながらない FACIL インターンシップを選んで応募する学生の目的意識は高いように感じる。業務内容としては、翻訳コーディネイト補助、医療通訳コーディネイト補助など、FACIL の活動に幅広く関わり、またインターン生の関心に応じて、たかとりコミュニティセンターの各団体とも交流を行った。個人応募以外では、大学からの受け入れ依頼にも対応した。

<2020年度インターンシップ参加者内訳>

FACIL インターンシップ	大学生 (院、専門学校生を含む)	社会人	人数
翻訳コーディネイト補助	1名	0名	1名
その他インターンシップ	時期等		人数
関西国際大学	総合看護実習 (7/6-7/9)		4名
大手前大学	国際看護学実習 I (7/27-7/31、8/3-8/7)		9名 (5名+4名)
合計			14名

(8) 研究調査・ネットワーク

① 執筆

吉富

- ・「転機としての阪神・淡路大震災」「南米からの人々—スペイン語圏の住民」
『県政 150 周年多文化共生記録誌』兵庫県 (2021 年 3 月発行)
- ・「医療通訳システムの制度づくり—市民団体への依存からの脱却のために—」
『医療通訳 4.0』松柏社 (2020 年 4 月発行)
- ・日本学生支援機構、ウェブマガジン『留学交流』2020 年 12 月号
「日系南米人受入れから 30 年—外国人支援政策から多文化共生政策へ—」
<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryu/2020/12.html>
- ・日本医学教育学会『医学教育』no. 6 (2020 年 12 月発行)
「医療現場における医療通訳者との協働—医療通訳者の立場から期待と提言—」

② ネットワーク

吉富

- ・たかとりコミュニティセンター 常務理事
- ・NGO 神戸外国人救援ネット 設立メンバー／運営委員
- ・ベトナム夢 KOBE 運営委員
- ・ひょうごラテンコミュニティ 特別顧問
- ・兵庫県外国人県民共生会議 メンバー
- ・特定非営利活動法人 CODE 海外災害援助市民センター 副代表
- ・(公財) 兵庫県人権啓発協会 人権問題研究アドバイザー
- ・ひょうご市民活動協議会 (HYOGON) 顧問
- ・兵庫県「若人の賞」 審査委員
- ・兵庫県長期ビジョン審議会 委員
- ・西日本地区入国者収容所等視察委員
- ・豊中市国際交流センター指定管理者選定評価委員会 委員
- ・「ひょうご安全の日推進県民会議」企画委員
- ・自由都市・堺 平和貢献賞選考委員会 委員
- ・大阪市姉妹都市交流推進事業補助金交付対象事業選考会 委員
- ・トヨタ財団 「外国人材の受け入れと日本社会」選考委員
- ・ひょうごコミュニティ基金「輝け加古川みらい基金」選考委員長

李

- ・NGO 神戸外国人救援ネット 運営委員
- ・ひょうご市民活動協議会 (HYOGON) 副代表

村上

- ・特定非営利活動法人遊び雲 監事

山口

- ・兵庫・国際協力同士の会 (HYOMIC) 幹事

③ 非常勤講師など

吉富

- ・親和女子大学 集中講座「多文化社会」

李

- ・京都外国語大学「NGO・NPO 活動論」「コミュニティビジネス」「多文化共生 (プロジェクト科目)」

村上

- ・関西学院大学「多文化共生論Ⅱ」「多文化社会と人権 (人権教育科目) <オムニバス>」
- ・大手前大学「大阪・神戸における多様な共生社会と文化<オムニバス>」

④学会／研究会など

吉富

- ・ 移民政務学会
- ・ 多文化関係学会
- ・ 関西公共政策研究会

(9) 管理部門

<業務総括>

データベースのクラウド化、また、そのためのデータ移行に伴う会計入力との連動などにより、飛躍的な効率化とコスト削減を実現できる新しいシステムを導入したことにより、会計入力の効率化、および今後のデータベース切り替えを進めていくための基盤構築が進んだ。

①総務全般

FACIL とキッズとしてふたつの団体でありながら、職員が重複する形で、それぞれの特徴を活かしつつ、共通の目標に向けて対等の共同体として連携できる体制を続けたが、キッズは本年度は活動休止状態であった。

②労務・人事・福利厚生

- ・ コロナウイルスの影響を受け、テレワークを導入した。コロナ禍での状況に対応し、また今後を見据えた職場環境を整えるため、各種、給付金・助成金・補助金を申請し受託した。
 - 持続化給付金
 - 雇用調整助成金（4月・5月分）
 - 両立支援等助成金（育児休業等支援コース）
 - 働き方改革推進支援助成金（新型コロナウイルス感染症対策のためのテレワークコース）

なお、テレワーク体制にあたり、テレワーク就業規則（在宅勤務規定）を策定し、それに応じて就業規則の変更を行い、労働基準監督署に登録した。

- ・ 労務の諸手続等については社会保険労務士と連絡を取り指示を受けながら、円滑なる業務の遂行に努めた。
- ・ コロナ禍の影響で年度当初は事業の見通しが不透明であったため、今年度は大幅なベースアップは実行できなかったが、常勤職員については約2%の昇給を行った。
- ・ 非常勤職員として7月に日比野美耶子さん、3月に井上稚菜さんを採用した。
- ・ FM わいわいの草の根事業の労務および事務に協力した。

③会員・人的資源管理データベース（データベース）の構築・運用

データベースのクラウド化、また、そのためのデータ移行に伴う会計入力との連動などにより、飛躍的な効率化とコスト削減を実現できる新しいシステムを、コロナウイルス関連多言語支援活動などにおいても活用するため、システムの構築を外部関係者に依頼して導入した。データベースに関しては年度内に切り替えが完了するまでには到らず、全面的な運用開始は次年度に繰り越しとなった。導入にかかる費用は、働き方改革推進支援助成金（新型コロナウイルス感染症対策のためのテレワークコース）および寺山財団からの寄付を一部充当した。

④経理・税務

- ・ （有）パンセへの会計入力作業に係る業務委託は先方の申し出により7月末で終了した。
- ・ 現状のクラウド型の会計ソフト（NPO 会計）から、データベースに連携したクラウド型会計ソフト（freee）への切り替えを行い、経理に関して大幅な効率化と質の向上を実現することができた。
- ・ 例年通り税務申告は高税理士事務所に委託。

⑤庶務

備品・文具等消耗品、光熱費削減等の意識は高くスタッフ一同に浸透している。TCC の一団体として、NPO 棟の毎月の掃除当番、毎月第 1 木曜日の古紙回収等、環境美化にも努めている。

⑥PCセキュリティ対策／メンテナンス／LAN管理

リーフグリーン、および、ひょうごんテック所属の緒方和也さんに継続的に ICT メンテナンスを依頼した。